

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 レッグス

コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内川 淳一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員経営企画担当 (氏名) 高木 一芳 TEL 03-3408-3090

四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	7,057	△12.3	229	△50.2	261	△43.3	147	△40.5
23年12月期第3四半期	8,044	15.1	460	315.9	460	304.5	247	420.6

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 245百万円 (1.5%) 23年12月期第3四半期 241百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	2,893.99	2,854.05
23年12月期第3四半期	4,886.22	4,877.93

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)および「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号平成22年6月30日)を適用しております。

第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	4,552	3,158	68.5
23年12月期	4,358	3,001	68.0

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 3,118百万円 23年12月期 2,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	3,800.00	3,800.00
24年12月期	—	0.00	—		
24年12月期(予想)				900.00	900.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年12月期 期末配当の内訳 普通配当 2,800円00銭 記念配当 1,000円00銭
平成24年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△7.4	320	△45.3	350	△40.9	210	△39.8	4,134.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 睿格斯(深セン)貿易有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	54,200 株	23年12月期	54,200 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	3,380 株	23年12月期	3,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	50,800 株	23年12月期3Q	50,604 株

第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、23年12月期の期末発行済株式数および期末自己株式数、23年12月期3Qの期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により緩やかな回復傾向が見られるものの、欧州債務問題や、長期化する円高の影響といった懸念材料により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する広告・販促業界においては、東日本大震災で自粛していた企業の販促活動に回復傾向が見られるものの、未だに景気の先行きが不透明な状況が続いていることにより、本格的な回復が見えない状況に変化はありません。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画において策定した市場戦略に基づいて従来の戦略市場である飲料および流通業界を主として、比較的企業体力のある大手を中心とする既存顧客の深掘りに加え、その他の業界での新規顧客開拓や昨今の顧客の販促ニーズの変化に対応した新規商材の提供等により、戦略市場および提供サービスの幅をひとつひとつ広げべく積極的な事業展開を行ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、まず売上高において、飲料および流通顧客向けが好調だったものの、食品顧客向けで大幅な落ち込みがあったことにより、全体としては前年同期比で減収となりました。売上総利益率に関しては、OEM顧客向けで高付加価値案件があったことにより前年同期比で0.4ポイント改善しております。営業利益、経常利益および四半期純利益に関しては、前述の減収により前年同期比で減益となりました。

また、トピックスとしては、生産・品質管理のコンサルティング業を主目的として平成24年3月に設立した当社子会社睿格斯（深圳）貿易有限公司につきましては順調に推移しておりますが、昨今の急激な中国情勢の変化により中国での経済活動が先行き不透明な状況となったことから、上海でマーケティングサービス事業を展開している子会社については今後の推移を慎重に見極めていきたいと考えております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は7,057百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益は229百万円（前年同期比50.2%減）、経常利益は261百万円（前年同期比43.3%減）、四半期純利益は147百万円（前年同期比40.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて193百万円増加し、4,552百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、商品が増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて36百万円増加し、1,393百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、買掛金が増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて156百万円増加し、3,158百万円となりました。これは主に、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成24年7月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した睿格斯（深圳）貿易有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日公表分）および「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号平成22年6月30日）を適用しております。

第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額	9,772円44銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	9,755円86銭

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

表示方法の変更

当社グループは、従来は商品企画を中心とした事業でありましたが、近年販売ノウハウや販促ツール情報等の様々なサービスを総合的に顧客に提供するマーケティングサービス事業を拡大してまいりました。こうした中で商品企画・デザイン検討・サンプル評価等については営業活動に付随して行われる状況が増加してきたため、従来は当該活動に係る費用を「売上原価」に計上しておりましたが、今期よりこれらの費用を「販売費及び一般管理費」に計上する方法に変更しております。

当該表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替を行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、売上原価は66,550千円減少し、売上総利益は66,550千円増加しておりますが、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,999	1,519,682
受取手形及び売掛金	1,951,159	1,671,494
商品	151,627	442,624
その他	172,055	165,870
貸倒引当金	△4,871	△7,900
流動資産合計	3,704,970	3,791,771
固定資産		
有形固定資産	32,228	30,795
無形固定資産	114,244	111,437
投資その他の資産		
その他	517,500	635,225
貸倒引当金	△10,591	△17,134
投資その他の資産合計	506,909	618,090
固定資産合計	653,381	760,322
資産合計	4,358,351	4,552,094
負債の部		
流動負債		
買掛金	509,685	730,685
未払法人税等	198,621	757
賞与引当金	58,599	90,000
その他	259,806	214,492
流動負債合計	1,026,713	1,035,935
固定負債		
長期未払金	221,720	221,720
退職給付引当金	108,490	117,312
その他	103	18,887
固定負債合計	330,314	357,921
負債合計	1,357,028	1,393,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	220,562	220,562
資本剰余金	267,987	267,987
利益剰余金	2,613,724	2,663,378
自己株式	△126,002	△122,523
株主資本合計	2,976,271	3,029,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,688	102,690
為替換算調整勘定	△10,358	△13,153
その他の包括利益累計額合計	△12,046	89,536
新株予約権	30,966	37,618
少数株主持分	6,131	1,678
純資産合計	3,001,323	3,158,237
負債純資産合計	4,358,351	4,552,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,044,254	7,057,240
売上原価	5,978,811	5,212,523
売上総利益	2,065,442	1,844,716
販売費及び一般管理費	1,605,349	1,615,497
営業利益	460,093	229,219
営業外収益		
受取利息	557	610
受取配当金	486	16,432
受取手数料	11,323	5,928
受取保険金	2,303	11,068
為替差益	—	5,047
その他	514	1,083
営業外収益合計	15,184	40,172
営業外費用		
支払利息	283	605
為替差損	11,122	—
投資事業組合運用損	2,374	1,912
開業費償却	1,006	5,209
その他	76	556
営業外費用合計	14,863	8,283
経常利益	460,414	261,107
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,296	—
持分変動利益	1,160	—
特別利益合計	6,456	—
特別損失		
固定資産除却損	72	54
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,359	—
特別損失合計	7,432	54
税金等調整前四半期純利益	459,438	261,053
法人税、住民税及び事業税	261,129	120,682
法人税等調整額	△44,638	△2,110
法人税等合計	216,491	118,572
少数株主損益調整前四半期純利益	242,946	142,480
少数株主損失(△)	△4,315	△4,536
四半期純利益	247,262	147,017

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	242,946	142,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△563	104,378
繰延ヘッジ損益	1,762	—
為替換算調整勘定	△2,701	△1,838
その他の包括利益合計	△1,501	102,540
四半期包括利益	241,444	245,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,782	249,474
少数株主に係る四半期包括利益	△4,337	△4,453

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。